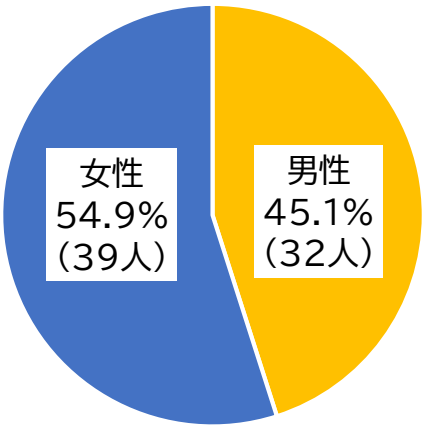
令和３年度市政モニターへのユニバーサルデザインに関するアンケート結果

【調査目的】 ユニバーサルデザインに関して、日ごろ感じていることや意見、提言等をうかがい、今後の取組の参考とする。

【実施期間】 令和３年９月13日から10月４日まで

【対象者数】 市政モニター79名

【回答者数】 71名(回答率 89.9%)



【回答者の属性】

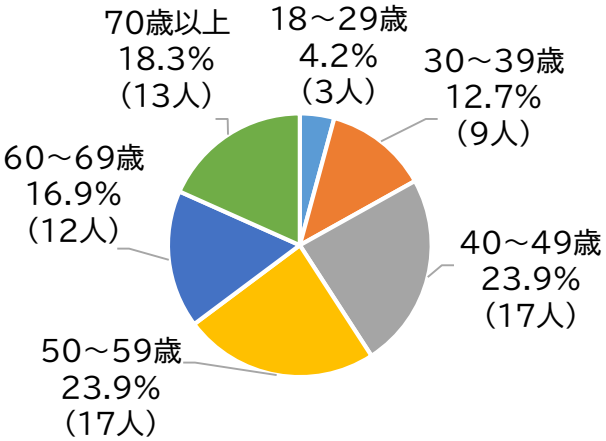
■性別

項目	人数	割合
男性	32人	45.1%
女性	39人	54.9%

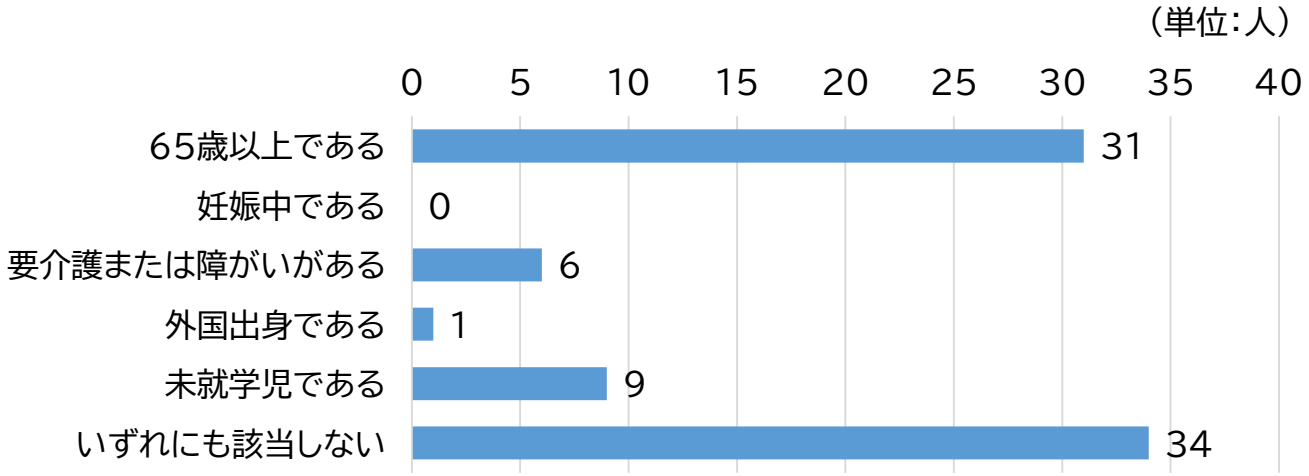
※問１は回答者の氏名を問う設問のため省略

問２:あなたの年齢は次のどれにあたりますか。

項目	人数	割合
18～29歳	3人	4.2%
30～39歳	9人	12.7%
40～49歳	17人	23.9%
50～59歳	17人	23.9%
60～69歳	12人	16.9%
70歳以上	13人	18.3%

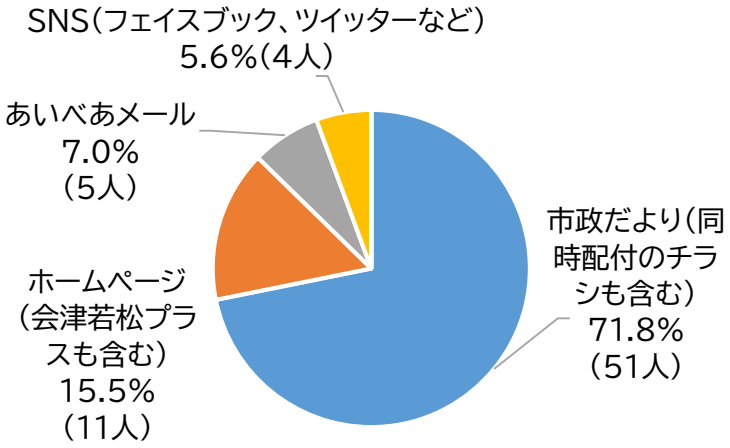


問３:あなた、もしくはあなたと同居する方が次のどれに該当するか教えてください。**(あてはまるものをすべて選んでください。)**



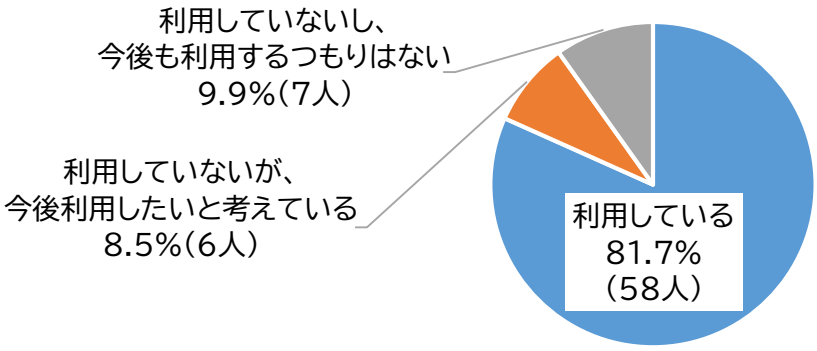
問４:市が発信する情報を収集する方法として最も利用する頻度が多いのは次のどれですか。
（**あてはまるものを１つ選んでください。**）

項目	人数	割合
市政だより(同時配付のチラシも含む)	51 人	71.8%
ホームページ(会津若松プラスも含む)	11 人	15.5%
あいべあメール	5 人	7.0%
SNS(フェイスブック、ツイッターなど)	4 人	5.6%
FMラジオ	0 人	0.0%
その他	0 人	0.0%



問５:情報収集の手段として携帯電話やスマートフォンなどの情報機器を利用していますか。（**あてはまるものを１つ選んでください。**）

項目	人数	割合
利用している	58 人	81.7%
利用していないが、今後利用したいと考えている	6 人	8.5%
利用していないし、今後も利用するつもりはない	7 人	9.9%



問６:問５で「2.利用していないが、今後利用したいと考えている」、「3.利用していないし、今後も利用するつもりはない」と回答した方に伺います。利用していない理由を教えてください。
（**あてはまるものを１つ選んでください。**）

項目	人数
必要性を感じない	9 人
操作がむずかしい	1 人
情報漏洩など安全面に不安がある	1 人
費用がかかる	1 人
インターネット環境がない	1 人
計	13 人

問 7：情報収集の手段としてインターネットを利用しやすい環境にするためには、どのようなサポートが必要だと考えますか。

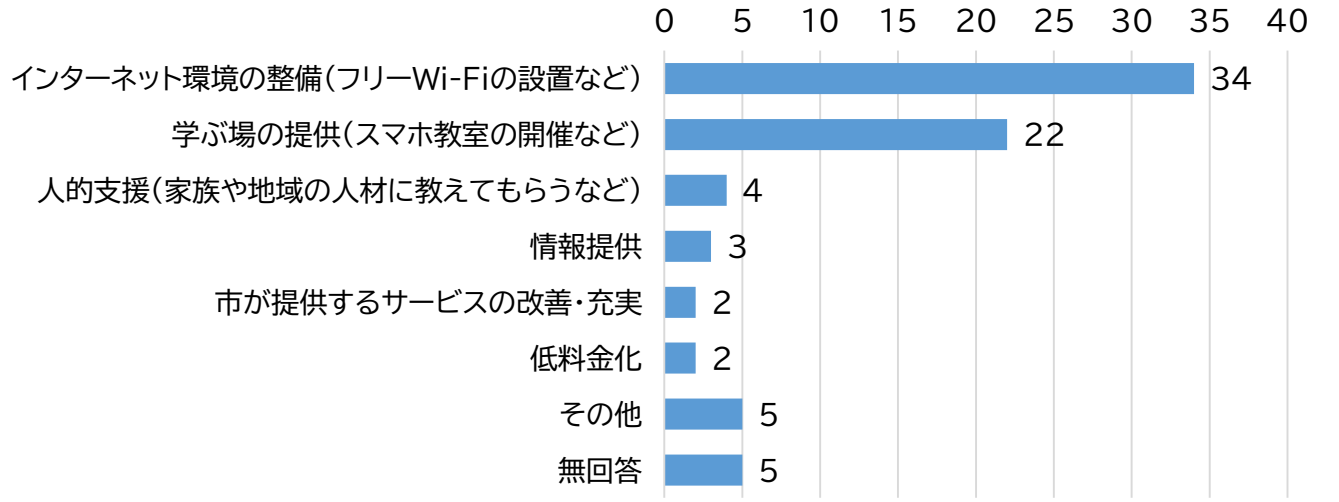
例）・まちなかにフリーWi-Fi を増設する

・スマートフォン等の使い方についてのセミナー・研修会を開催する

・スマートフォン等の使い方を知っている身近な人（子や孫、地域の民生委員等）に使い方を教わるなど

※以下、自由記述意見を分類した場合の項目及び回答人数（1 人による複数回答を含む）

（単位：人）



【その他の内容】

・紙媒体での情報発信をやめる

・インターネットに慣れていないため、興味はあるが後回しになっている

・私には必要ありません

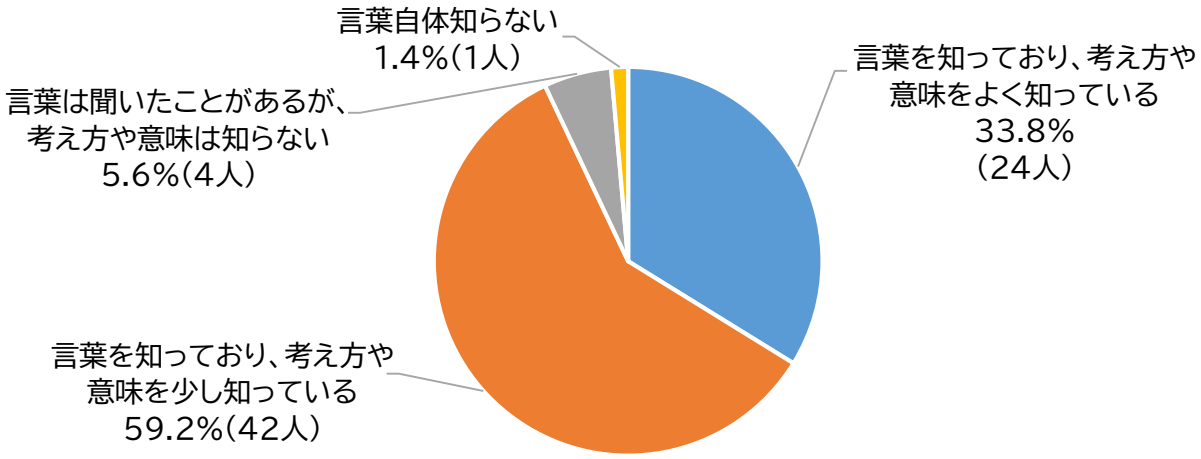
・今の年齢では自分には無理だと思います

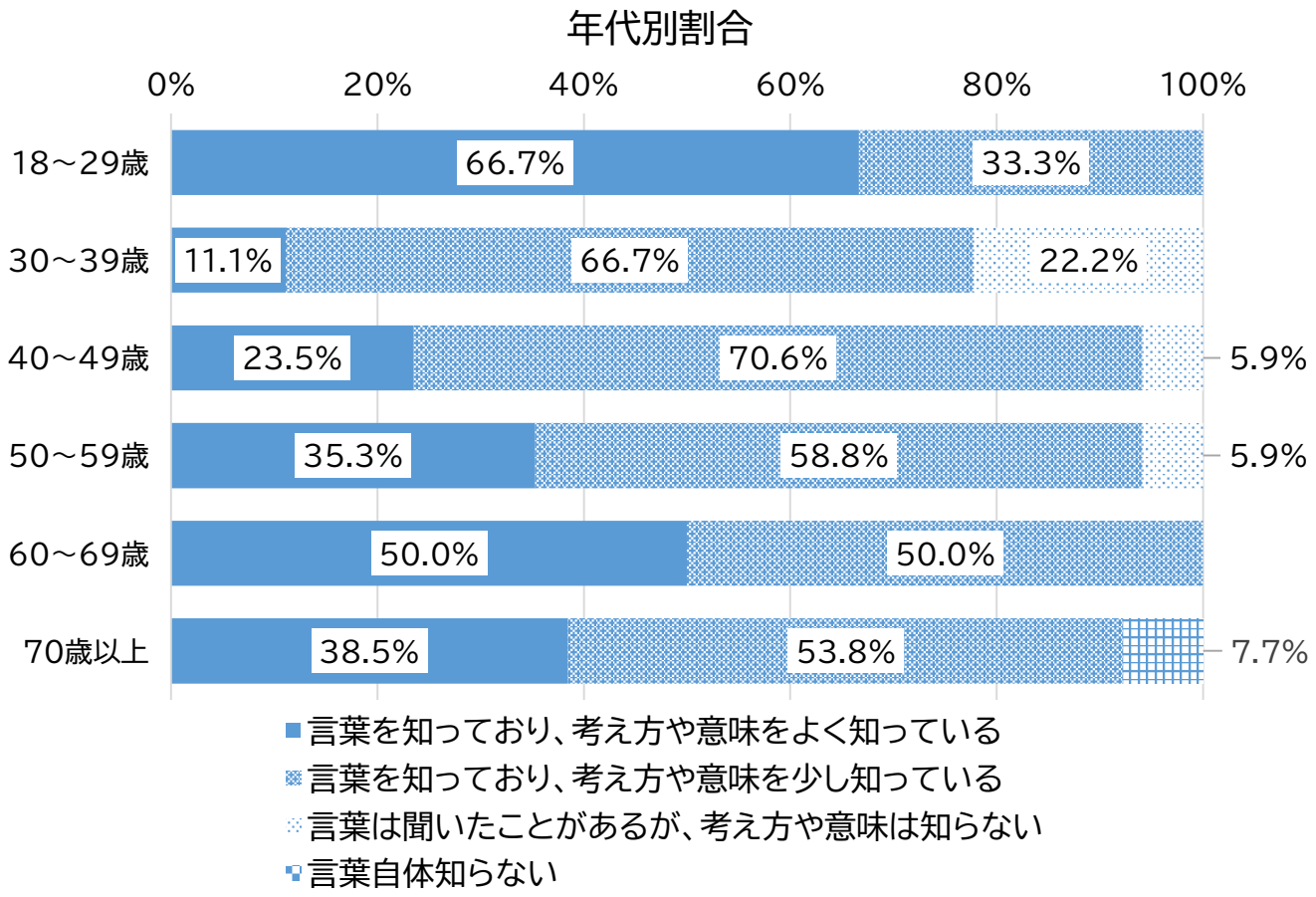
・支所や公民館のプリンターの機能を拡張する

2. ユニバーサルデザインについて伺います

問 8：あなたは、ユニバーサルデザインという言葉を知っていますか。（**あてはまるものを１つ選んでください。**）

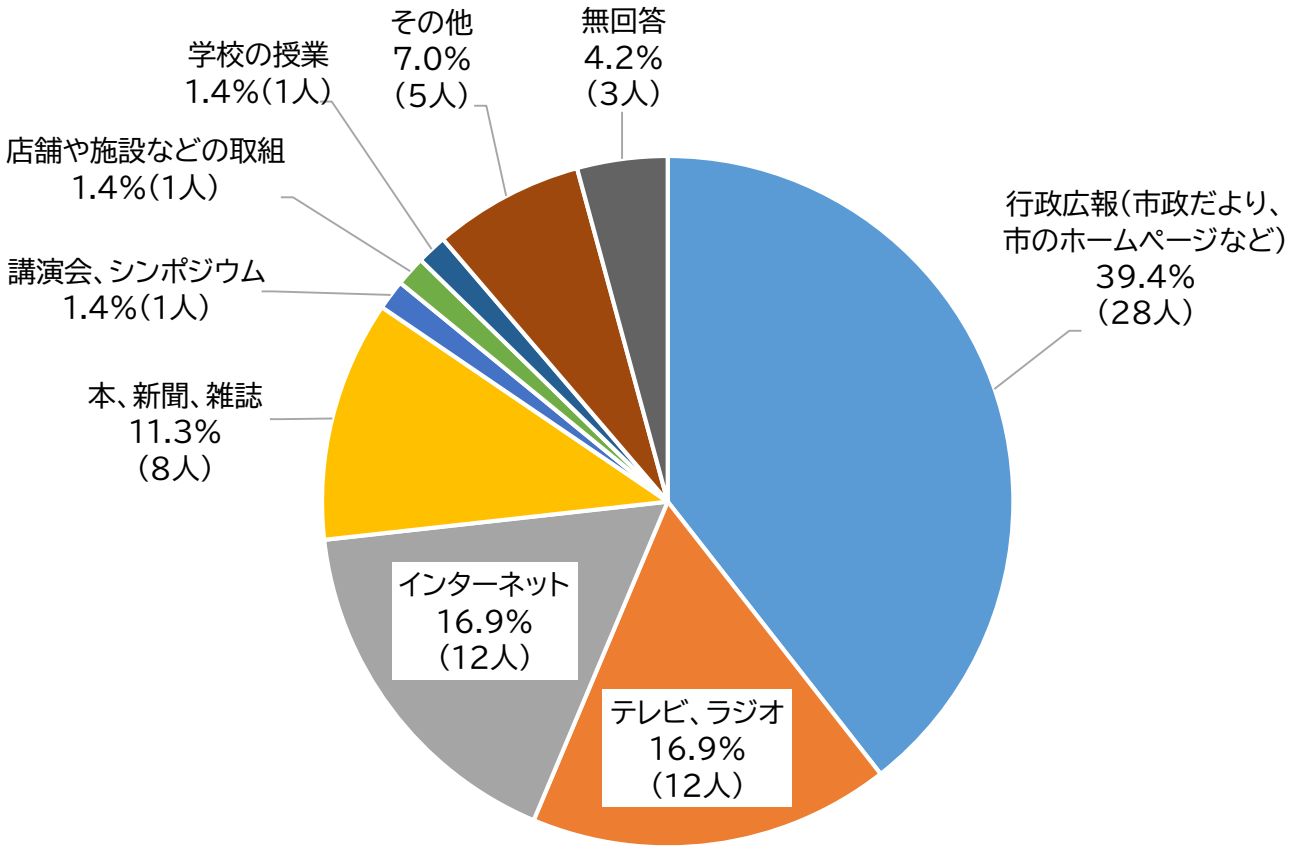
項目	人数	割合
言葉を知っており、考え方や意味をよく知っている	24 人	33.8%
言葉を知っており、考え方や意味を少し知っている	42 人	59.2%
言葉は聞いたことがあるが、考え方や意味は知らない	4 人	5.6%
言葉自体知らない	1 人	1.4%





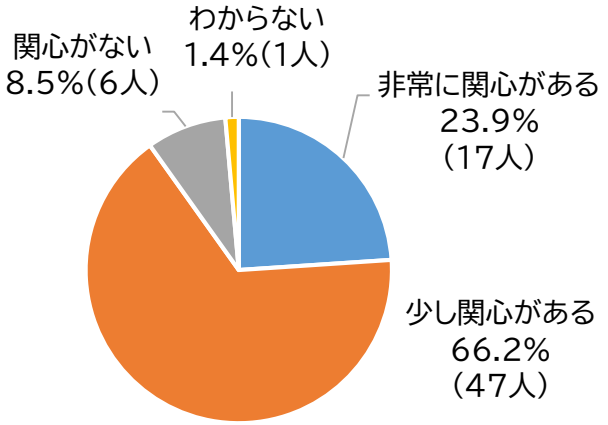
問９:問８で「1.考え方や意味もよく知っている」、「2.考え方や意味を少し知っている、「3.考え方や意味は知らない」と回答した方　に伺います。「ユニバーサルデザイン」という言葉をどのようにして知りましたか。（**あてはまるものを１つ選んでください。**）

項目	人数	割合
行政広報（市政だより、市のホームページなど）	28 人	39.4%
テレビ、ラジオ	12 人	16.9%
インターネット	12 人	16.9%
本、新聞、雑誌	8 人	11.3%
講演会、シンポジウム	1 人	1.4%
店舗や施設などの取組	1 人	1.4%
学校の授業	1 人	1.4%
その他	5 人	7.0%
無回答	3 人	4.2%



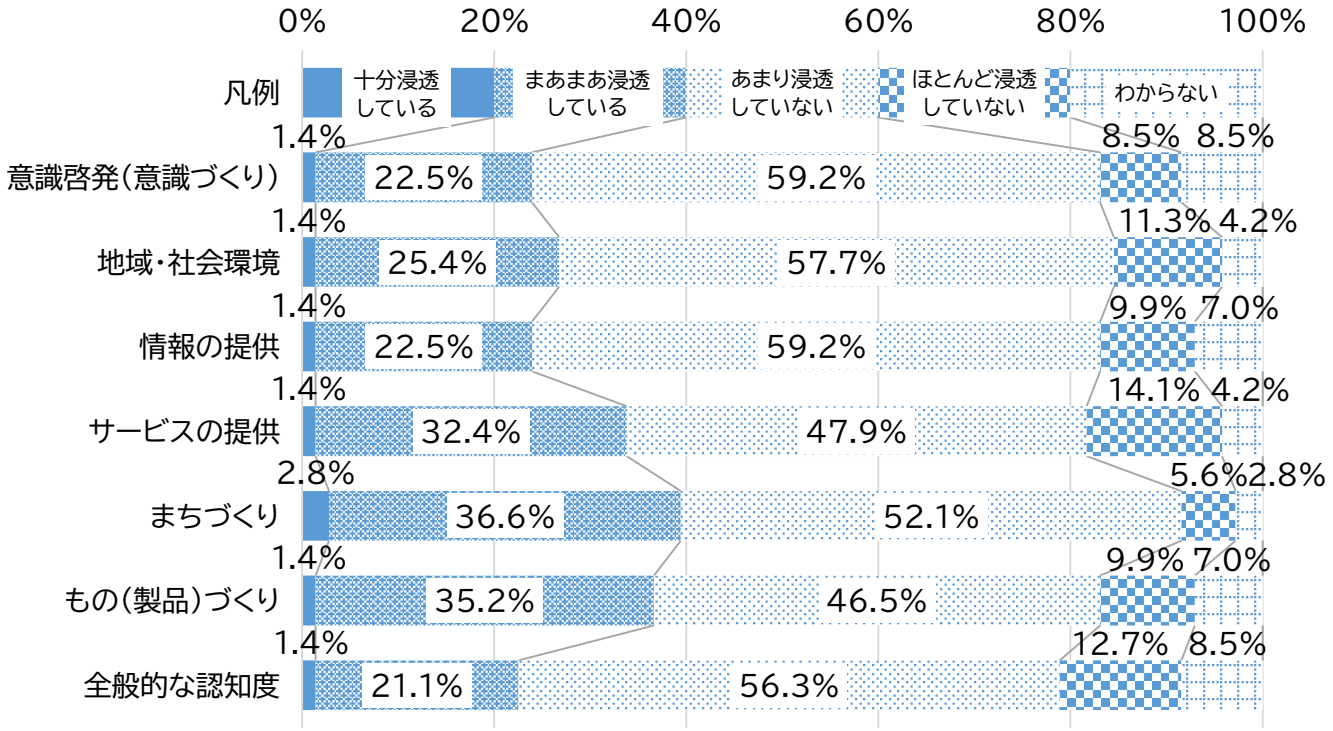
問 10：あなたは「ユニバーサルデザイン」に関心がありますか。（**あてはまるものを<u>１つ</u>選んでください。**）

項目	人数	割合
非常に関心がある	17 人	23.9%
少し関心がある	47 人	66.2%
関心がない	6 人	8.5%
わからない	1 人	1.4%



問 11：あなたの日常生活の中で以下のそれぞれの分野のユニバーサルデザインやその取組が、どの程度浸透していると思いますか。（**それぞれあてはまるものを<u>1つ</u>選んでください。**）

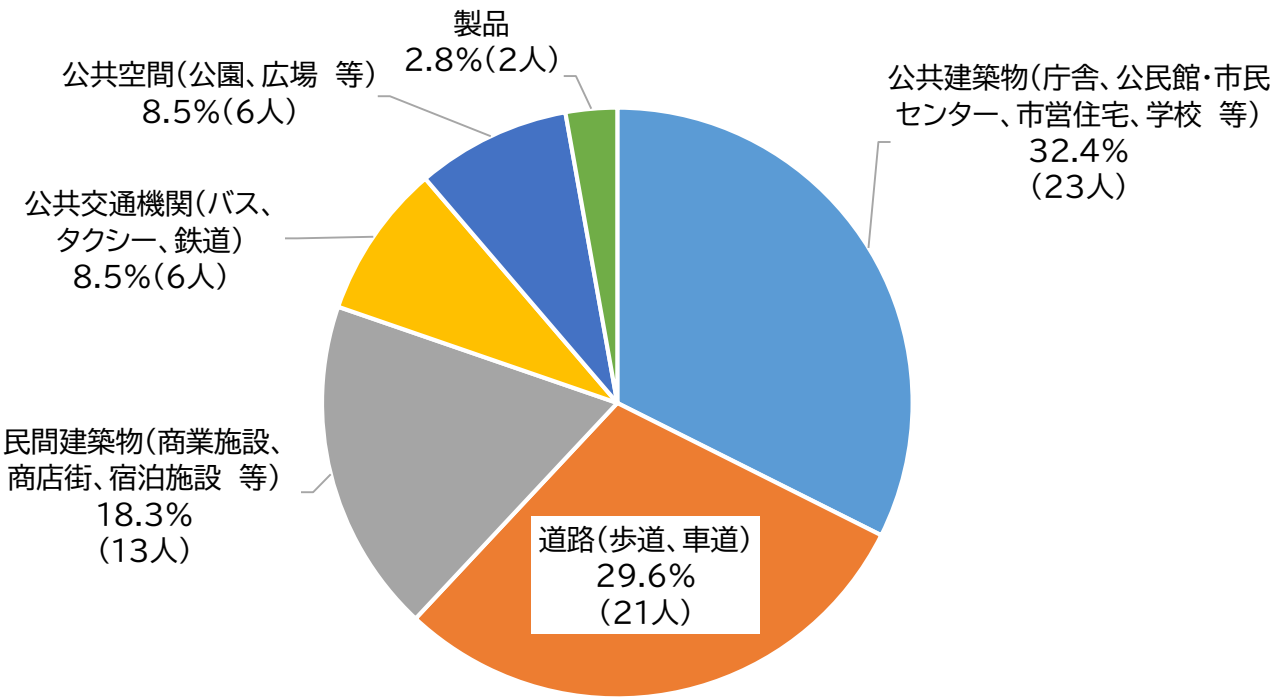
項目	内容
意識啓発（意識づくり）の取組について	思いやりやおもてなしのこころを育む取組、ユニバーサルデザインの必要性や重要性についての意識啓発など
地域・社会環境について	地域での支え合い、交流の場づくり、防犯・防災などの安全・安心な環境づくり
情報の提供について	様々な手段による情報提供、分かりやすい情報提供、情報収集のしやすさ、情報の利用しやすさ
サービスの提供について	手続きの簡素化、気配りある対応など
まちづくりについて	施設設備、道路、公園、公共交通など
もの（製品）づくりについて	誰もが使いやすい製品の開発、普及など
全般的な認知度について	「ユニバーサルデザイン」という言葉やその意味



問12：あなたが、ユニバーサルデザインの考え方を特に導入していくことが必要だと考えるのはどれですか。（「ハード面」「ソフト面」**それぞれにあてはまるものを1つ選び、その理由をお書きください。**）

【ハード面】

項目	人数	割合
公共建築物（庁舎、公民館・市民センター、市営住宅、学校　等）	23 人	32.4%
道路（歩道、車道）	21 人	29.6%
民間建築物（商業施設、商店街、宿泊施設　等）	13 人	18.3%
公共交通機関（バス、タクシー、鉄道） ※車両のほか、附属する施設・設備も含む	6 人	8.5%
公共空間（公園、広場　等）	6 人	8.5%
製品	2 人	2.8%



◎具体的に導入が必要と考える理由

【公共建築物（庁舎、公民館・市民センター、市営住宅、学校　等）】

年代	回答
10～20 代	誰にとっても必要不可欠なため
10～20 代	すべての市民が公平に利用できる場所である
30 代	公共建築物で率先垂範して欲しいから
30 代	特に学校への導入を希望します
40 代	学校、市営住宅等はエレベーターが設置されていないところが多く、高齢者や足腰の悪い方の負担となっているため
40 代	子育ての中でユニバーサルデザインが身近にあると良いと思います
50 代	利用頻度

年代	回答
50 代	利用する人が多いため
50 代	公共施設はどんな人でも利用するから、市民が平等に利用するには必要であると思う
50 代	庁舎について、歴史的に価値のある物だと思いますが、ユニバーサルデザインの考え方よりかけ離れている
50 代	子ども達が自分らしく過ごせる環境を作るため
50 代	市民がよく利用する施設だと思うため
50 代	全体、全部必要。やりやすい所だけやるのがムダ。例えば地域の公民館だけユニバーサルデザインで他は全部やらないとか
60 代	多くの市民が利用する物だから
70 歳以上	普及順序は 1.公共建築物 2.公共交通機関 3.道路 4.公共空間 5.民間建築物…になると思うから
70 歳以上	公共の施設は、市民が随時利用するので、身体の不自由な方達が安心して利用できるように配慮していただきたいため
70 歳以上	皆が気楽に行き来できるスペースの入口のスロープ、わかりやすい説明等の徹底
70 歳以上	分かりにくい

【道路（歩道、車道）】

年代	回答
10～20 代	まだ整備されてない道路などが目立つから
30 代	みんなが使う場所なので
30 代	道を車で走っていると一方通行がわかりづらかったりすることが多いから
30 代	車社会において、車を利用しない子ども達や高齢者は必ず道を歩きます。車ばかりの私達がいざ歩いてみると段差や狭さに驚きます。まずは歩道をはじめ、道路の整備はどの世代にも共通することなので特に重要だと思います
40 代	会津は歩道が狭く、雪道などでは不便極まりない。さらに歩道と車道の高さの違いや、車で侵入する際、そこを擦るような場合も多く、手直しされていない。それを歩行者に当てはまめると、歩きづらくてしょうがない。ランニングもしにくい
40 代	歩道の段差や狭さ、舗装がされていない等の道は足の不自由な方や車椅子、ベビーカーを使う方にとっては歩き難いと思います。道路というと車優先で、自転車優先レーンであっても走りにくい
40 代	市内は一方通行が多いので、他県ナンバーがよく逆走してくることに出くわす。標識や道路表示を分かりやすくし、増やしていき、観光客に優しい道路環境であって欲しい
40 代	歩道、車道にはまだ浸透していない
50 代	歩道が特に、石があったり破損していたりメンテナンスがされていない
50 代	市内では、ほとんどの自転車が違法通行状態であり、歩道はそうした自転車のため無法地帯化している。こうした自転車をなくせるような道路整備をしなければ、ユニバーサルデザインは成立しない

年代	回答
50 代	建物はだんだんユニバーサルデザインの考え方に配慮されていることを感じることがありますが、市内の街中を歩いても、ユニバーサルデザインからかけ離れているというか、全くそのような配慮がされていることを感じることができません
50 代	生命の危険につながると思うから
50 代	せまい所だと歩道がきちんとないため、歩行者が車道を通らなければならない所が多い
60 代	だれでも日常利用しているから
60 代	歩道や自転車優先道路が狭い。電柱が道路の内側にあり、道路が狭い
70 歳以上	市内を自転車や徒歩で廻るといつも感じることは、歩行者や自転車の走行に「優しくない箇所」が非常に多いことです。自転車道や歩道にデコボコが多く、走行しにくい箇所があまりにも多い。高齢者の負担にもなるし、観光都市としても歓迎されない事案です。一原因として頻繁に繰り返される道路工事の後処理がしっかりしていないことも考えられますので検討して欲しい
70 歳以上	全ての人が利用する物だから
70 歳以上	危険がいっぱいである
70 歳以上	冬期間雪に埋もれて正しい交通情報が生かされない

【民間建築物（商業施設、商店街、宿泊施設　等）】

年代	回答
30 代	年代問わず多くの人が利用する場所だから
30 代	観光地だから
40 代	公共物はUDがある程度行き届いてきていると思うので、次は民間の施設ということで
40 代	障がいがあっても買い物など出かけやすいように
40 代	ユニバーサルデザインを考えるとき最もわかりやすいのは、スープのレードルです。私は左利きメインの両利きですが、飲食店や宿泊施設のバイキング等、自分でサーブする用に設置してあるレードルが、たいていのお店は右利き用であるからです。両利き用のレードルも市販されているのに、なんなら普通のお玉でも良いのに、あえて右利き用のレードルが設置してあるところだと、「ここはユニバーサルデザインに関する意識が低いな」と考えます。両利き用のレードルにするだけで簡単に考え方・意識が変えられるのだから積極的に導入して欲しいです（左利きに関することのみですみません）
50 代	不特定多数の方々が利用する
50 代	公共施設は進んでいると思うので、民間も市民が分かりやすくなるように進んでほしい
60 代	公共建築物は導入が基本となりやすいが、民間建築物には啓発、支援、援助などが必要
60 代	公共建築物と比べ民間は遅れているような気がする

年代	回答
70 歳以上	商業施設等に使われている所が少ない
70 歳以上	ユニバーサルデザインとは何か…多くの人たちは答えることができないと思う

【公共交通機関（バス、タクシー、鉄道） ※車両のほか、附属する施設・設備も含む】

年代	回答
30 代	移動手段がしっかりしていないと公共建築物、民間建築物、公共空間にたどりつけない
40 代	公共交通機関に一番必要だと考えています
50 代	親の介護をしていた時期不便だった
70 歳以上	・七日町通りに県外の人が多く見られるので・老人になるとバスを多く利用するため
70 歳以上	自分の住む地区ではバスの便が悪く、今後は不安を感じる
70 歳以上	一番利用するところだから

【公共空間（公園、広場 等）】

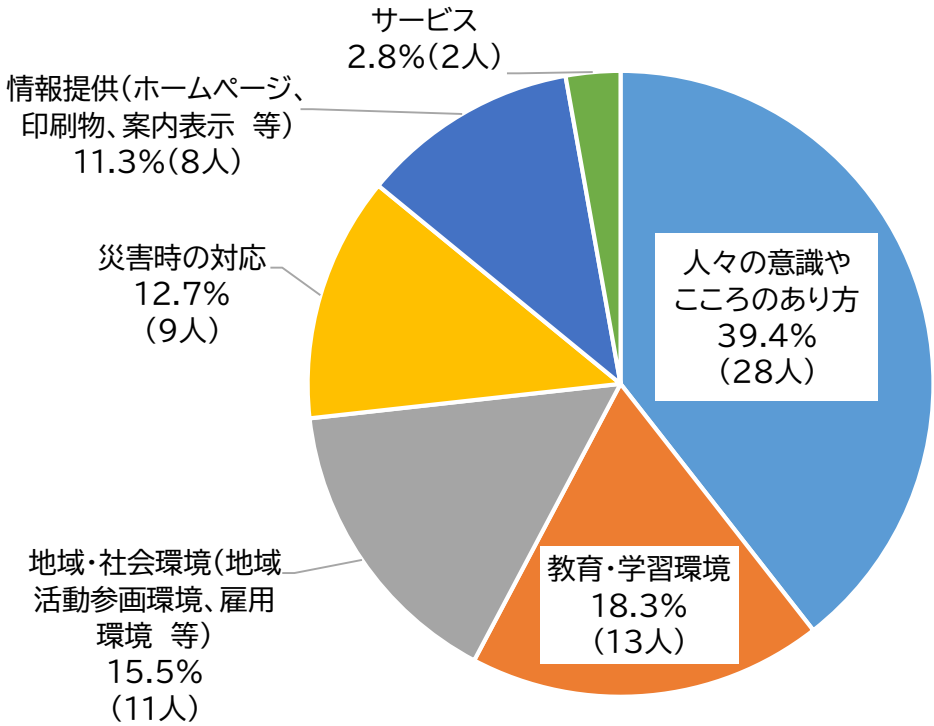
年代	回答
40 代	皆が使う場所だから
40 代	公園等において段差が多く見られ、適合していないように思える
50 代	幅広い年代で利用できるところがない
60 代	公園等の使用状態が悪い。ユニバーサルデザインの考え方が普及してない。公園内のゴミ、たばこの吸殻、幼児のオムツ、これらの廃棄が多いです。一般常識が足りない
60 代	公園内の汚れがひどい

【製品】

年代	回答
60 代	一人ひとりの毎日の生活の中での、小さくても助かる便利さが必要だと思ったから
60 代	家庭の中で常に使用している物に着眼した方が、より身近にユニバーサルデザインを理解できる

【ソフト面】

項目	人数	割合
人々の意識やこころのあり方	28 人	39.4%
教育・学習環境	13 人	18.3%
地域・社会環境（地域活動参画環境、雇用環境　等）	11 人	15.5%
災害時の対応	9 人	12.7%
情報提供（ホームページ、印刷物、案内表示　等）	8 人	11.3%
サービス	2 人	2.8%



人

◎具体的に導入が必要と考える理由

【人々の意識やこころのあり方】

年代	回答
10～20 代	多様性を考えるべき世の中で自分の考えに固執し、多様性を認めない人が多いように感じるから
30 代	皆で助け合うための知識を学ぶ機会
30 代	みんなの意識を変えていかないとダメだと思うので
30 代	人間の意識が必要
40 代	色々施設が整備されても最終的には人の意識の問題が一番だし、変えるのも一番難しいことのように思う
40 代	好きなスポーツや文化活動の中においては交流が深いと感じられる。しかし他のスポーツや文化活動といった横のつながりに新しく加わった人への対応は、希薄だと思う。会津人の気質もあるかもしれないが、全体を通して物事や他人事をもう少し配慮できるような民度になると良い
40 代	まず意識ありきでないと、他を推し進めても意味がない

年代	回答
40 代	考え方が浸透することで必然的にユニバーサルデザインとなるかと思います
40 代	上記の中で、当てはまるものを1つとあるけれど、結局のところすべては人々の意識次第だと思う。そこからはじまる
40 代	日頃から意識できるよう、学校や家庭や職場で話題にできるといい
40 代	公共施設だけスロープをつけさせる。そんな方向性じゃダメ。まずは、市職員の意識だと思います
50 代	意識改革は必要
50 代	高齢者の割合が多くなっている会津若松市では、ユニバーサルデザインの考え方が浸透してきているとは言えないような気がします。まずは、人々の意識から変えていくことが大切なのではと感じます
50 代	思いやる気持ちが大事
50 代	まだまだ一人ひとりに意識が浸透していないと感じるから
60 代	障がいのある方への偏見や間違った接し方などがまだ有るので、意識を変えることが必要だと思う
70 歳以上	人々の心の中に考え方がしっかり根を下ろさない限り、この運動は先へ進まないと思う
70 歳以上	皆が各々の事ばかりを考えるのではなく、世の中が明るくなるような考え方をもって人の事も考えられる工夫が必要と思います（小さいときから教育する）
70 歳以上	老人には優しくないと思う
70 歳以上	只見はバスを自由に 200 円で乗れる
70 歳以上	まだまだ広く浸透していない
70 歳以上	自分が大変な状況にならないとわからない
70 歳以上	障”害”者ではなく、障”がい”者という表記を大きく広めること。ちなみに障がい者の表記は新聞でよく見る

【教育・学習環境】

年代	回答
30 代	まずは「知る」ことが重要なため
40 代	教育でユニバーサルデザインを浸透させて欲しい
40 代	学習や本などで取り入れてほしいです
40 代	子どもや若い人にこれからは学んでほしい
50 代	将来のためになるので
50 代	教育を受ける時から考え方を知れば浸透すると思う
60 代	小さい子どもたちに教えてください
70 歳以上	道路標示が消えているような所での交通指導しかしてない

【地域・社会環境（地域活動参画環境、雇用環境　等）】

年代	回答
10～20 代	問題を抱えている人が社会にしっかりと包摂されていく前提として
10～20 代	生活するのに重要な条件である
30 代	より日常だから
50 代	地域の人との交流にも、健常者や障がいを抱えた人も共に活動できるためには必要
50 代	全ての人にやさしいように
50 代	特に雇用面で遅れているような気がする
60 代	親子で交流できる場所を増やしてほしい。子育てを推進する施設を増やしてほしい
60 代	くらしが楽しい、より良い質の高い生活。希望が持てるサービスや地域づくり
60 代	地域・社会でのユニバーサルデザインの浸透を希望する
70 歳以上	学校教育はもちろん、市全体に生活する若者の意識改革
70 歳以上	すべての人にやさしい心の持ちよう等

【災害時の対応】

年代	回答
30 代	災害の意識が高まってきたが、まだまだわかりづらい事がたくさんあると思うから
40 代	何かあった場合を考えて
40 代	天災のときなどに、逃げ遅れる心配がある方たちへのわかりやすい避難経路、避難方法、連絡先などの整備と確実な通知があるのかどうかわからなかったため
40 代	普段、これだけ生活しにくい町であるから、災害時などはどのようになってしまうのか
50 代	見た目からは気付いてもらえない、困っている人を助けるため
50 代	自然災害が多くなっている
60 代	防災の意識が薄い
60 代	重要でありながら、日常的でなないため後回しされがちだと考えるから重点をおくべき
70 歳以上	高齢者、身体の不自由な方や引きこもりの方などが、地震や風水害等にソフト面で自力で行動できるような支援が必要と思います

【情報提供（ホームページ、印刷物、案内表示　等）】

年代	回答
30 代	わかりやすい
50 代	情報として知らなければ利用もままならないから
50 代	わかりにくいデザインに言葉の説明が必要でしょう

年代	回答
60 代	人の意識を変えていくにも、情報提供が重要だと思う
60 代	家庭でこそ必要性が高い
60 代	知ることが大事
70 歳以上	自分は必要なく妻が最近変えたので、まだ良くできないので当面は庁報等で日常等は十分かと思っている
70 歳以上	ユニバーサルデザインの具体的な事例をもっと多くアピールして呼びかけてはいかがでしょうか。言葉だけだは実感がないように思います

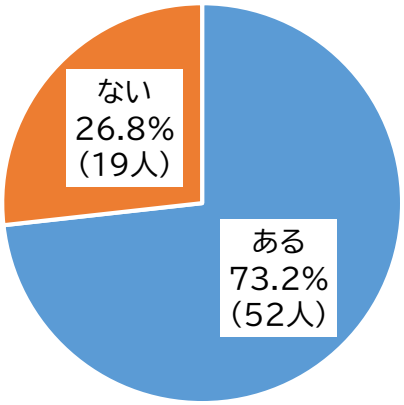
【サービス】

年代	回答
50 代	IT を活かして便利にできるのではと思います
60 代	実際のサービスを感じられなければ意味がないと思ったから

問 13：あなたは、日常生活で「ユニバーサルデザイン」を取り入れた施設や設備、商品などを利用した経験はありますか。

例）シャンプーボトルの凹凸、駅の多言語表記　など

項目	人数	割合
ある	52 人	73.2%
ない	19 人	26.8%



問 13-1：特に重要だと思ったもの・利用しやすかったと思うものとその理由を教えてください。

【製品】

年代	回答	理由
30 代	シャンプーボトル ※同種回答　他 3 件	側面に凹凸があり、触るとシャンプーとリンスの区別が分かるようになっているから
30 代	食器類	子どもが持ちやすいようデザインされているものが多く大変助かった。こういったものは育児だけではなく介護する、される場合も役立つのではないかと思った
40 代	自動販売機	硬貨の投入口。指先で硬貨をつまむ必要がなく使いやすかったため
40 代	スープレードル、包丁	両利き用のものがあるから
40 代	ボトルブラシ	水筒などの洗いにくいボトルの底まで届く
50 代	ペットボトル	持ちやすい
60 代	銀行 ATM の傘や杖をかけるへこみ、レジ前の荷物を置く台	シンプルに助かる
60 代	漆器の丼	丸みがあり、丈夫で使い易かった
70 歳以上	洗剤	「まぜるな危険」の表示は人命にかかわる大変重要なポイントに思います
70 歳以上	牛乳パック	矢印の部分を開くのではなく、キャップを回す物が使いやすい

【施設・設備】

年代	項目	理由
40 代	會津稽古堂	非常に優れた施設であるから
40 代	スロープ	車椅子で上り下りができるから
40 代	駐車場	必要とする人が生活しやすい公共施設づくりが大切だと思います
50 代	トイレ	中が広く、小さい子どもと一緒に利用できるから
60 代	障がい者や高齢者に配慮した施設設備	すべての人が生活しやすい環境を考えた場合、大事なのは弱者に対する配慮だと思うから
60 代	トイレ	女子トイレの個室にチャイルドシートを設置してほしい
60 代	公共トイレの荷物フック	持ち物をかけるフックが高い所にあり、背が低くてかけられない、下に置くと不潔。重いものはそこまで上げられない
70 歳以上	会津風雅堂	スロープ、トイレの案内表示、広さ、車椅子での移動、観客席の設定
70 歳以上	施設全般	施設・駅・病院・観光地等、鶴ヶ城、県立博物館を無料にしたらどうか
70 歳以上	段差のないフロアのある病院	車椅子介助がしやすい

【案内表示】

年代	項目	理由
40 代	案内表示全般	多言語表記より、ピクトグラム等で表記してあると小さな子どもでも分かりやすい
50 代	多目的トイレの案内表示	ギックリ腰のとき、多目的トイレ表示が有り難かった
50 代	道路の案内表示	（無回答）
50 代	トイレの案内表示（点字）	道の駅のトイレのボタンに点字がついていた。何のためのボタンなのか、分からないと使えない人もいると思うが、点字がついていれば安心して使用できる
60 代	床の表示	フロア誘導ステッカーは三密回避でよく目に留まります。目立つ色、大きな文字、わかりやすい絵など特に目に留まります

【公共交通】

年代	項目	理由
10～20 代	交通機関（特に JR）	旅行等で交通機関を利用した際、初めて訪れた所でも、駅などの構内通路や案内板、トイレなどは高齢者や障がい者、外国人でも安全安心に利用しやすいように工夫されている

年代	項目	理由
30 代	ノンステップバス	高齢者や障がい者でなくとも体の負担がかからないので良い。特に冬の時期は降りる時に滑ることがあるので段差が低いと少し安心できる
70 歳以上	駅	初めて行くことの多い場所なので、利用しやすいことはありがたい
70 歳以上	駅	点字ブロック、トイレ、バリアフリー

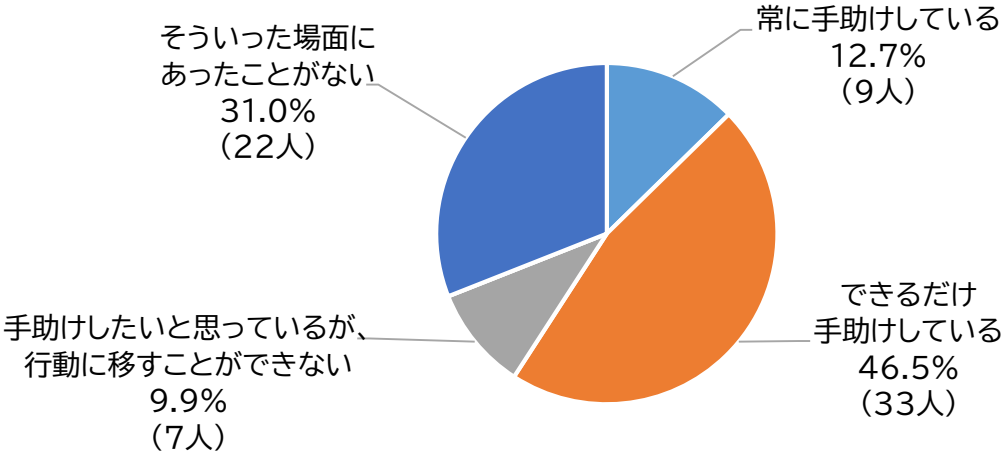
【その他】

年代	項目	理由
50 代	意識づくり	例えばスロープを作るより、車椅子の方をすぐみんなで助けるような意識づくり
60 代	意識の変化	知人は事故により手指にマヒが生じた。健常者から障がい者になった。その時の意識・器具などについてです。不自由な手指を「嘆く」でなく自分の特徴であるとのポジティブな意識変化をしたこと。なんでもできると思っていると、補助する器具や人が存在していて、それらを利活用しているのを見た。※身のまわりにはユニバーサルデザインの器具があり、人材がいる

3. こころのユニバーサルデザインについて伺います

問14：あなたは、車いすの方が段差で進めなくなっていたり、視覚や聴覚に障がいのある方が、迷っていたりした場合、手助けしていますか。（**あてはまるものを1つ選んでください。**）

項目	人数	割合
常に手助けしている	9 人	12.7%
できるだけ手助けしている	33 人	46.5%
手助けしたいと思っているが、行動に移すことができない	7 人	9.9%
手助けしたくない	0 人	0.0%
そういった場面にあったことがない	22 人	31.0%

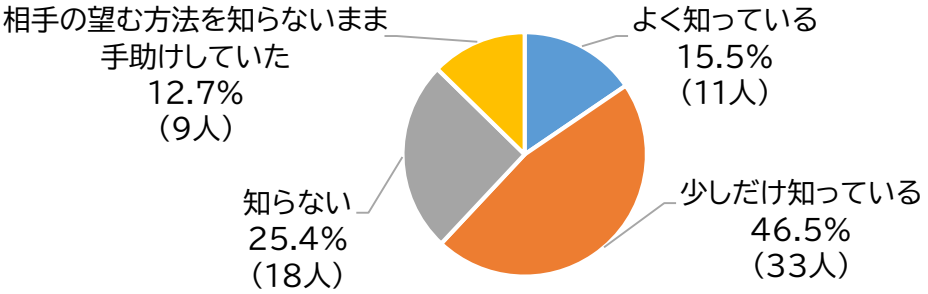


問14-1：問13 で「3 手助けしたいと思っているが、行動に移すことができない」、「4 手助けしたくない」と回答した方に伺います。その理由を教えてください。（**あてはまるものを1つ選んでください。**）

項目	人数
手助けをしたくても対応方法がわからないから	5 人
かえって相手の迷惑になるといやだから	1 人
恥ずかしいから	1 人
計	7 人

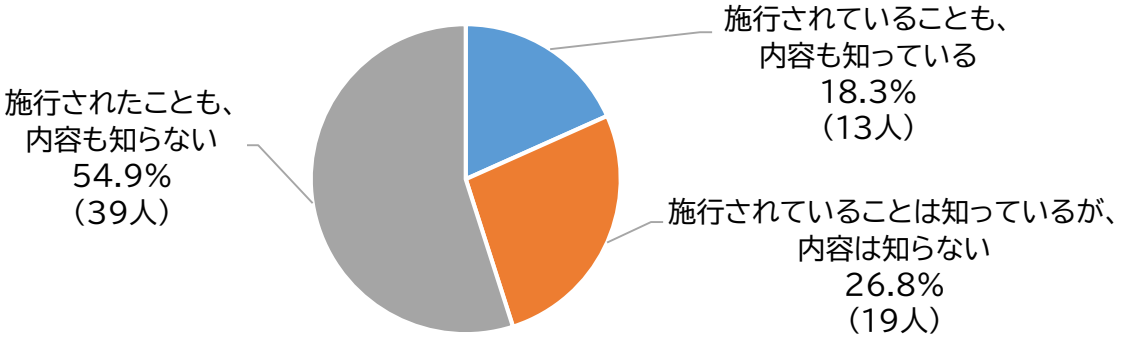
問15：こうした困っている状況の方への声のかけかたや手助けの仕方を知っていますか。（**あてはまるものを1つ選んでください。**）

項目	人数	割合
よく知っている	11 人	15.5%
少しだけ知っている	33 人	46.5%
知らない	18 人	25.4%
相手の望む方法を知らないまま手助けしていた	9 人	12.7%



問16：あなたは、障がいのある方への「合理的配慮」などが求められる「障害者差別解消法」についてご存知ですか。（**あてはまるものを1つ選んでください。**）

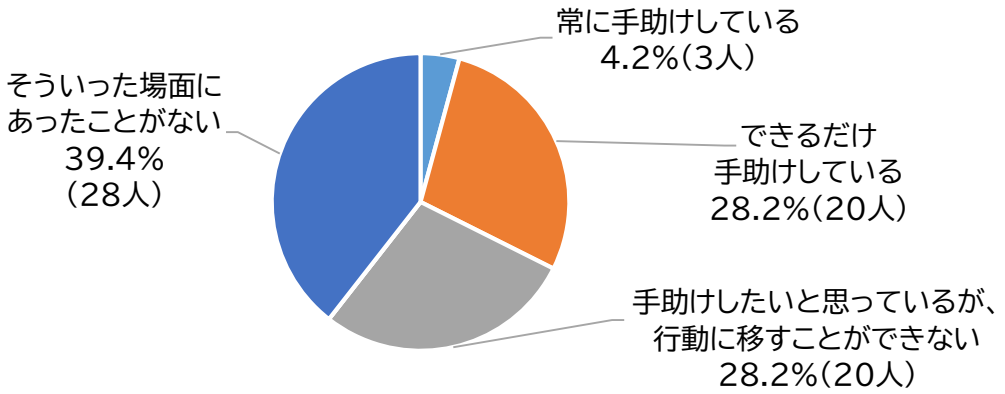
項目	人数	割合
施行されていることも、内容も知っている	13 人	18.3%
施行されていることは知っているが、内容は知らない	19 人	26.8%
施行されたことも、内容も知らない	39 人	54.9%



【障害者差別解消法とは】
　正式名は、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」
　すべての人が障がいの有無によって分け隔てられることなく、互いに人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現につなげることを目的とした法律で、平成 28 年4月1日に施行されました。
　この法律では、障がいを理由とする不当な差別的取扱いの禁止や合理的配慮の提供が求められています。

問17：あなたは、外国の方が道や駅などで迷っていたりした場合、声をかけて手助けしていますか。（**あてはまるものを1つ選んでください。**）

項目	人数	割合
常に手助けしている	3 人	4.2%
できるだけ手助けしている	20 人	28.2%
手助けしたいと思っているが、行動に移すことができない	20 人	28.2%
手助けしたくない	0 人	0.0%
そういった場面にあったことがない	28 人	39.4%



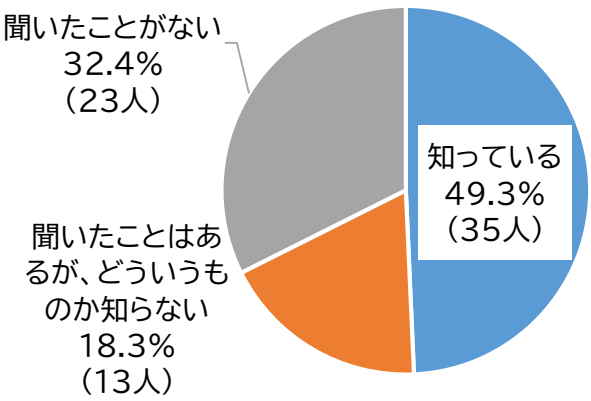
問17-1：問 17 で「3 手助けしたいと思っているが、行動に移すことができない」、「4 手助けしたくない」と回答した方に伺います。その理由を教えてください。（**あてはまるものを1つ選んでください。**）

項目	人数
外国語が分からないから	15 人
手助けをしたくても対応方法がわからないから	2 人
かえって相手の迷惑になるといやだから	1 人
恥ずかしいから	1 人
その他	1 人
計	20 人

【その他の内容】
・外国語が通じるかどうか不安

問18：あなたは、「ヘルプマーク（※）」を知っていますか。（**あてはまるものを1つ選んでください。**）

項目	人数	割合
知っている	35 人	49.3%
聞いたことはあるが、どういうものか知らない	13 人	18.3%
聞いたことがない	23 人	32.4%



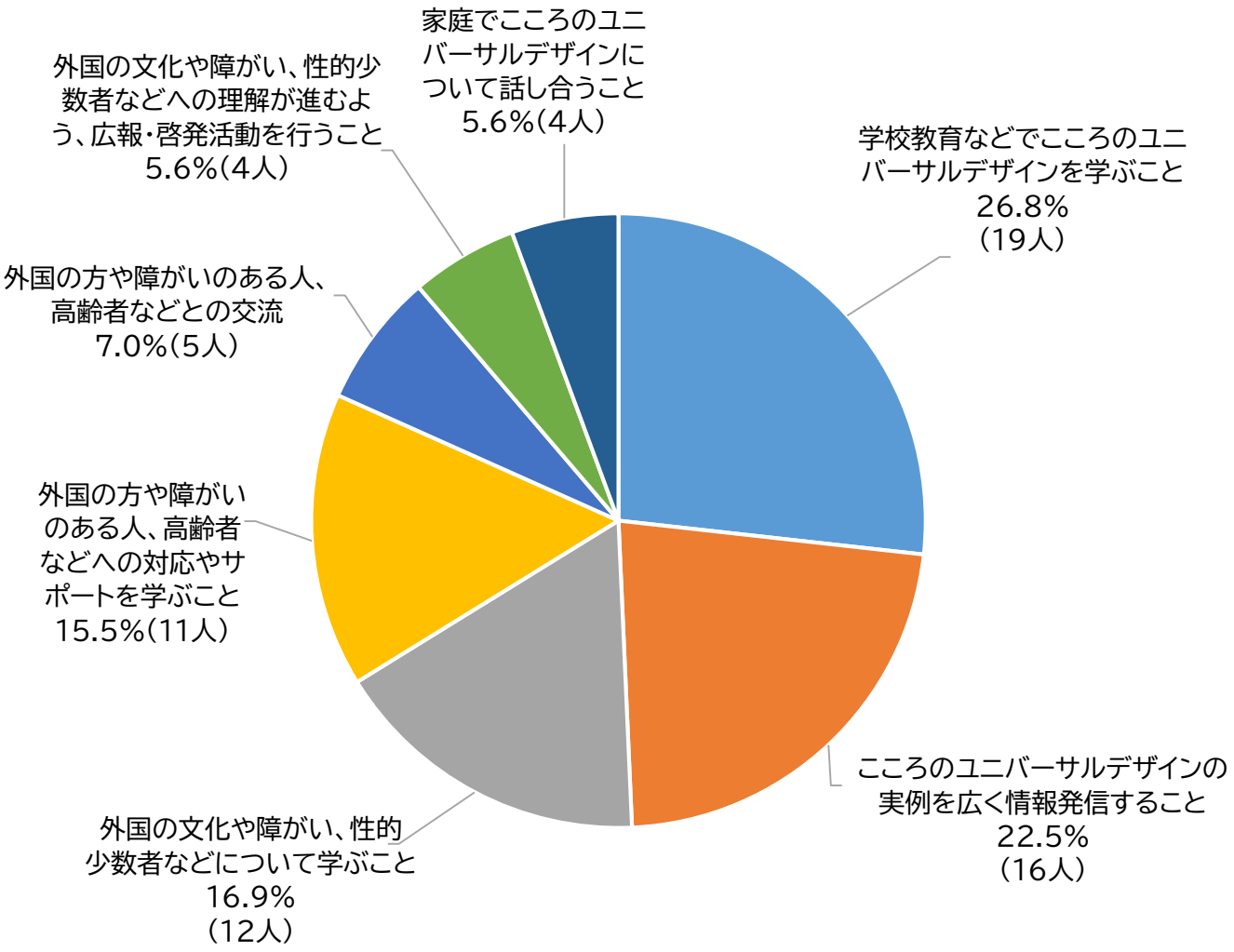
ヘルプマーク

（※）ヘルプマーク：様々な疾患があったり、妊娠していたり、支援や配慮が必要であっても外見からはわかりにくい人が支援や配慮を他の人に求めるために身につけるもの

問19：「こころのユニバーサルデザイン」の実践のためには、どのような取組が必要だと思いますか。（**最もあてはまるものを1つ選んでください。**）

項目	人数	割合
学校教育などでこころのユニバーサルデザインを学ぶこと	19 人	26.8%
こころのユニバーサルデザインの実例を広く情報発信すること	16 人	22.5%
外国の文化や障がい、性的少数者（※）などについて学ぶこと	12 人	16.9%
外国の方や障がいのある人、高齢者などへの対応やサポートを学ぶこと	11 人	15.5%
外国の方や障がいのある人、高齢者などとの交流	5 人	7.0%
外国の文化や障がい、性的少数者などへの理解が進むよう、広報・啓発活動を行うこと	4 人	5.6%
家庭でこころのユニバーサルデザインについて話し合うこと	4 人	5.6%

（※）性的少数者：自分が感じる自身の性別（性自認）や、恋愛などの対象となる性別の方向性（性的指向）を理由に、生きづらさを感じている方々を総称する言葉。LGBTと称されることが多い。



問 20：新型コロナウイルス感染防止のため、不要不急の外出自粛やソーシャルディスタンス（社会的距離）の確保などを行う中で、「こころのユニバーサルデザイン」について気付いたこと、感じたことがあれば教えてください。

例）スーパーで買い物をする時、高齢者や妊婦等を優先する時間帯があり安心できた。 など

年代	内容
10～20 代	緊急時では、まだまだ社会的弱者に対する配慮をする余裕に乏しいと思うことが多かった
10～20 代	市内のどこのスーパーでも店員はもちろんの事、買い物客も全員が手指の消毒とマスクをしているし、密にならないようにしているので、安心して買い物ができる
30 代	声をかけて、できる事を手伝える環境はいいと思います
40 代	車に「県外ナンバーですが福島在住です」というステッカーを貼っているのを見かけ、貼らなければならない社会であることが残念です
40 代	とにかく会津の人は平和ボケしている。危機感をもって生活する必要がある
40 代	エレベーターに乗る人数の配慮
40 代	自粛する人や気にせず行動する人、ワクチンを接種する人とそうでない人、自分の身の回りの人の考え方の違いに特に気づくことができた。強制力はないので個人の考え方はそれぞれだが、行政はなるべく均等に方針が行き渡るような伝え方を根気強く続けて欲しい
40 代	スーパーにあるアルコール消毒液は、ペダルを足で踏んでボトルに触れずに消毒ができる。個人病院も予約制になり待ち時間が短縮された
50 代	スーパーのレジなどで自主的に距離を保つ事ができている
50 代	消毒済のマーク
50 代	ワクチン接種の予約がとりづらく、Web 予約の方法が分かりづらかった。結局電話での予約ができたが、ちゃんと予約できたかどうか不安になりました
50 代	新型コロナウイルス感染症拡大の前であれば、善意が善意として受け取られていたと思うが、今は善意を迷惑と捉えられる方が多くなったと感じる
50 代	集客目的のイベントやチラシが減ったこと
50 代	買い物などで高齢者の方の優先時間帯があって安心した一方で、高齢者の方の自分勝手な行動も目についたのが残念だった
50 代	最近のスーパーなどで授乳室や子どもが遊べるスペースが増えてきていて、とても素晴らしいと感じる
50 代	自分は感染していないので関係ないと思っているのか、連休、土日の人の出が多かったようで危機感がないと思いました
60 代	どのような状態の人であっても皆気遣いをされています。皆常識を持っています。状態の区分けはあまり必要ない
60 代	会津若松市の対応がぬるい
60 代	一般の国民にユニバーサルデザインの趣旨が行き届いていない

年代	内容
60 代	一人ひとりが相手の立場になって考え、あたたかい心で接することが大事なので、困っている人がいたら声かけしたい。今の社会は「関わりたくない」と知らぬふりをする人が多いので、子どもの頃から、「こころのユニバーサルデザイン」を学校で教育していってはどうか
60 代	スーパーで小さいお子様連れの買い物は遠慮するようアナウンスされていることに納得できた
60 代	研修など、今までは現地に出向いていたが、コロナ禍でのソーシャルディスタンスの確保により、オンラインで行う機会が増えた
60 代	年を重ねてくると道路の縁石が見づらくなったり見逃したり、たびたび驚くことがあります。誰でもいつかは「こころのユニバーサルデザイン」に触れる機会が出てくると思います。
60 代	買い物の重い荷物を車まで運んでもらったのはありがたかったです
60 代	車椅子の方や体の不自由な方を見かけた時は、声をかけた方がいい場合はお手伝いをしたいと思いますが、大体は介助される方がいらっしゃるようで安心です
60 代	（神明通り、郵便本局前の横断歩道での出来事） 横断歩道を年配の男性（歩行不自由者）が渡り始めた。その事に気付いた前の自動車は停止し、男性が渡るのを見守った。男性は停止車に気付いて、早く渡ろうと努力した。その直後、若い女性は停止車の前を悠然と渡っていった。 停止車に対する「不自由な方と健常者」で心の持ち方に差異を感じた。「こころのユニバーサルデザイン」とは何かと思った
70 歳以上	一例として、客が商品の陳列棚を巡る時は、一方方向での買い物をルール化すれば、さらにソーシャルディスタンスの確保がとりやすくなるのではと思います
70 歳以上	お互いのことを感じ、考える割合が社会全体で多くなっているように思う
70 歳以上	買い物の混んでいる時間をスマホで知る事ができるスーパーを利用していて、空いている時間に買い物ができ、安心です
70 歳以上	スーパーや郵便局等で、社会に出た時に距離を取りやすいように案内や表示がされている事
70 歳以上	80 歳になって世の中で変わりゆく物にやっと対応できるようになり、ホッとしています。下を向いて歩くのではなく、上を向いて進まなくては!!
70 歳以上	新型コロナウイルス感染から１年７か月、買い物の時間帯は勿論の事、外食も外出も控え、一日も早く終息することを願っています
70 歳以上	普段から、障がい者、高齢者への譲り合いは感じている
70 歳以上	「こころのユニバーサルデザイン」で思うこと。新型コロナウイルス感染症防止活動と同時に、一人暮らしの高齢者の見回りを含め、町内を回る。そして何か助けが必要なときには玄関に白タオルを出して合図をする。全町内に知らせるよう提案が出された。一方では過保護だ、自分のことは自分で行うのが基本ではないか、という激しく強い反対意見も出ている。「こころのユニバーサルデザイン」にはさまざまな壁が横たわるものだ
70 歳以上	ホームページに各種データが表示されるが、数字の字体が細く、かつ黒くないので、スマホ等で見るのに不便である

問 21：その他、本市のユニバーサルデザインの推進に関し、ご意見やご提案などがありましたら教えてください。

年代	内容
10～20 代	対策の実効性を意識して、有意義な取組を進めてほしい
10～20 代	ハード面では公共建築物には積極的にユニバーサルデザインを導入して模範を示し、ソフト面では様々な環境整備ができる人材を育成すべきである
30 代	継続的に市政だより等で啓発して頂ければと思います
30 代	差別をなくすための情報の提供。コロナ禍でも人々がお互いに優しくなれるような環境作り
40 代	建物や設備を作る際にユニバーサルデザインであることを必須としたり、補助金を出したりして、どんどん広めて当たり前の社会に近づけていってほしいです
40 代	日々の生活でふれあうことが少ないと、ユニバーサルデザインに関する基本的な内容や意識はどうしても薄れていくし忘れていく。例えば震災や原発事故の当事者である福島県民であっても 10 年経てば記憶が薄れていくのと一緒であり、行政は根気よく発信し続けなければ効果は薄れていくのではないか
40 代	ユニバーサルデザインは大切だと思います。市政だよりやあいべあ等で情報を頂けるとありがたいです
40 代	市政だよりで毎月コーナーを少しでも持ち、発信したらいいと思います
50 代	歩道が狭い所で車椅子の方が申し訳なさそうにしているのを見たことがある。広くして整備すると、そういった事が無くなる
50 代	LGBTについて、Tの方はLGBの方とは違うと思うので、一緒にして論じることはやめるべきだと思います
50 代	作文、絵画コンクールなどを企画してはどうか
50 代	可能であれば、庁舎の新築や、ICTを活用した便利な市民サービスの実現等、全国の手本になるような、ユニバーサルデザイン都市になって欲しいと思います
50 代	新型コロナウイルスワクチン接種のために集団接種会場に行った時に、私は体力が無いので杖を使用して歩いていたのですが、市役所の職員の方があちらこちらで丁寧に誘導してくださったので、何も困ることなく接種を終了することができました
50 代	コロナ禍で観光客が減っている環境の中で、この状況が変わる前に変わった後に対応できるような準備を始めて欲しい。（いろいろな人が集まって快適に過ごせるように、たくさんの意見を取り入れたデータに基づいて）
60 代	新聞やインターネットを持っていない年配者に分りやすい説明がなっていない
60 代	知的障がい者のための政策。知的障がい者との交流。知的障がい者が幸せに生きるためのユニバーサルデザインが進んでほしい
60 代	新しい公共施設にはユニバーサルデザインが多く見られる。新庁舎に期待したい。古くなった施設も改修工事を進めてほしい
60 代	インターネットからばかり情報を提供するのを優先するのではなく、インターネットを使えない事情がある人のために、他の方法（広報紙等）でも情報を得られるよう、考案していただけたらありがたい

年代	内容
60 代	市政だよりで、1 人 1 日あたりのごみの排出量がワースト 10 位以内であることを知った。資源ごみをリサイクルして回収し、少しでも家庭ごみを減らしたい。一般家庭で分別の徹底をし、リサイクルできるものは別に仕分け、市のリサイクルコーナーをフル活用するよう PR し、力を入れてほしい
60 代	最近はユニバーサルデザインで町中の表示等が目立つ色、大きな文字でとても気づきやすいし、目に留まります
60 代	車椅子でも移動しやすくするためのエレベーターの設置。車椅子の改良（重量、持ち運び・動きやすさ、ハンドル等、老老介護用）
60 代	ユニバーサルデザインの推進についての研修があれば受けてみたいと思います
70 歳以上	ユニバーサルデザインの例を市政だより等で大いに宣伝して欲しい。また、稽古堂等に印刷物を沢山掲示するべきだと思う
70 歳以上	ユニバーサルデザインに関連する分野は多岐に渡り、広いと思いますが、身近な地域（例えば町内会）からの意見・提案の収集も試みられてはいかがでしょうか
70 歳以上	新庁舎のユニバーサルデザインは、既成概念を白紙にして、多角的に検討をお願いいたします
70 歳以上	ユニバーサルデザインを実践できるような心を計画的に育てる環境の整備、学校教育、社会教育、地域社会づくりの推進
70 歳以上	あまり関心をもって見る事が少なかったので、心して見ていきたいと思います
70 歳以上	各人の心もちである事だと思いますが、まだまだではあるとは思います。少しずつ、色んな場面で発信していく事だと思います
70 歳以上	市の公共施設等で古くて年数経過している施設は、洋式トイレや建物内の通路が狭く、移動に支障がある。文化センターの建て替えを含みます
70 歳以上	街に出るのが恐いと思っているこの頃です。秋の良い季節には歩いて色々勉強してみたいと思います
70 歳以上	新型コロナウイルス感染症拡大から 1 年 7 か月、個人的にはボランティア活動が 1 年以上中止になり、ようやく今は月 4 回程度です。体力的に今後も継続できるのか不安を感じるようになりました
70 歳以上	少し外れますが、高齢者や一人暮らしの方へ文書（通知）は理解しやすく、大きい文字でお願いしたい（高齢者福祉相談員）

UD FONT
見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。